

インタラクティブ機能搭載プロジェクター

# EB-1485FT操作ガイド

— 使い方編 —





# 目次

§1. 各機器との接続	・・・P.5
§2. 「インタラクティブ機能」でできること	・・・P.6
§3. ホーム画面	・・・P.7
§4. 【ホワイトボードモード】－ホワイトボードとして利用する	・・・P.8
§4. 【ホワイトボードモード】－新規ページの追加／削除	・・・P.11
§4. 【ホワイトボードモード】－文字入力・移動・回転	・・・P.12
§4. 【ホワイトボードモード】－ホワイトボードにファイルや画像を挿入する	・・・P.14
§4. 【ホワイトボードモード】－背景を選択する	・・・P.15
§4. 【ホワイトボードモード】－画面を拡大表示する	・・・P.16
§4. 【ホワイトボードモード】－描画した内容を共有する	・・・P.17
§4. 【ホワイトボードモード】－同じネットワークのプロジェクターと共有する	・・・P.18
§5. 【描画モード】－投写した資料に描画する	・・・P.20
§5. 【描画モード】－描画した内容を共有する	・・・P.22
§6. 【PC操作モード】－投写画面でコンピューターを操作する	・・・P.23
§6. 【PC操作モード】－Easy Interactive Toolsでのスライドショー	・・・P.27
§6. 【PC操作モード】－ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する	・・・P.28
§6. 【PC操作モード】－タッチキーボードの設定	・・・P.29
§6. 【PC操作モード】－Microsoft®Officeの「インクツール」を利用する	・・・P.30
§7. 【共通】－タイマー機能を利用する	・・・P.31
§7. 【共通】－ホワイトボードと画面を分割する	・・・P.32
§7. 【共通】－複数の映像を同時に投写する	・・・P.33
§8. 【16:6投写】－超ワイド投写する	・・・P.34
§9. 【USBメモリー】－USBメモリー保存データを投写する	・・・P.37



# § 1. 各機器との接続

利用時に、PCやタブレットなど各機器と接続します。  
接続しない場合でもホワイトボード機能はご利用いただけます。

## 基本の接続

【PC画面を投写して、電子ペンでマウス操作を行う】

### ※高画質映像での投写

HDMIケーブルとUSBケーブルをプロジェクター本体やコントロールパッド（インターフェイスボックスELPCB03利用時はインターフェイスボックス）に接続します。

PCのHDMIポート、USBポートに上で接続したケーブルの片側を接続します。

※RGB & 音声ケーブルで接続する場合は、RGB & 音声ケーブルとUSBケーブルを接続してください。



## 簡易接続

【PC画面を投写して、電子ペンでマウス操作を行う】

### ※低画質映像での投写

USBケーブルをプロジェクター本体やコントロールパッド（インターフェイスボックスELPCB03利用時はインターフェイスボックス）に接続します。

PCのUSBポートに上で接続したケーブルの片側を接続します。

※動画再生時等、画質が悪くなります。



## 簡易無線接続

【PC画面の投写のみ】

Windows10のアクションセンターより「接続」を選択し、表示された機器に「接続」します。

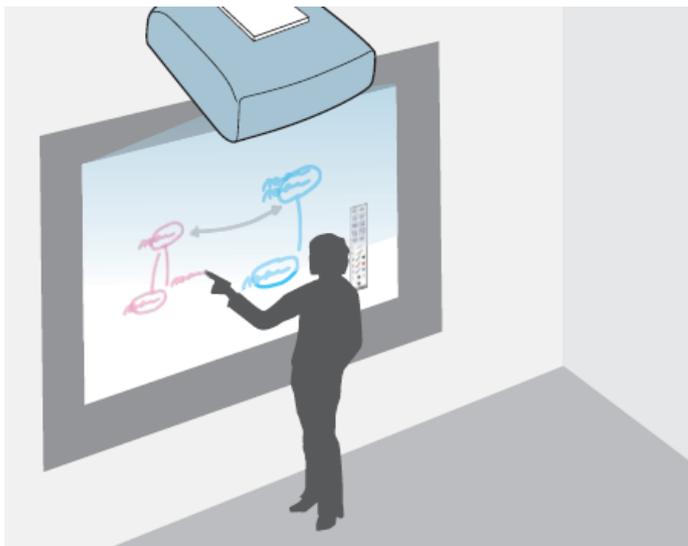
※電子ペンでのマウス操作ができない為、surface等をご利用の場合はマウス操作はタブレット上で行ってください。

※電子ペンで投写画面に書き込むことができますが、アクションモードでの運用となる為PCに保存することができません。



※簡易無線接続方法及びWi-Fiでの接続方法については、EB-1485FT操作ガイド「ネットワーク接続編」をご参照ください。

## §2.「インタラクティブ機能」でできること



### 【ホワイトボードモード】

ホワイトボードのような無地の背景が投写されます。ペンまたは指を使って画面上に自由に文字や図形を描画できます。特定のアプリケーションソフトをインストールしたり、コンピューターを接続したりしなくても、プロジェクター内蔵のホワイトボード機能を使って描画できます。

会議でホワイトボードの代わりに使用すると便利です。

他のプロジェクターで描画した内容を共有したり、PDFやPNGファイルとして保存したり、印刷したり、メールで送信したりできます。

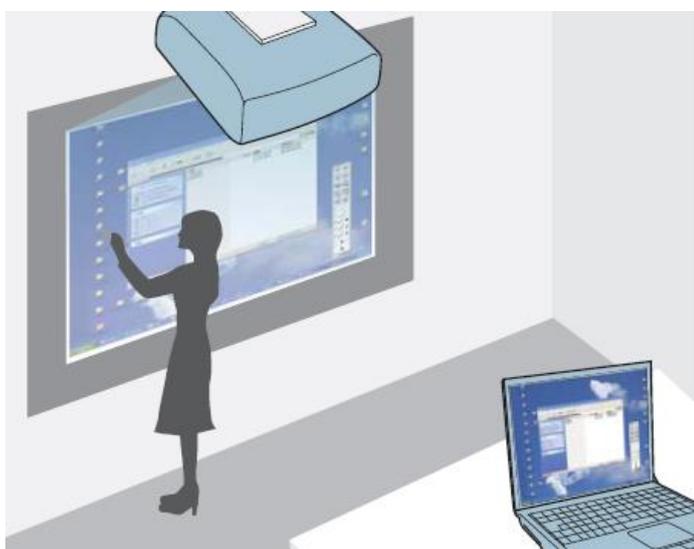


### 【描画モード】

ペンまたは指を使って、コンピューター、タブレット端末、書画カメラなどから投写した資料に注釈を書き込めます。

重要なポイントを強調したり補足を書き込んだりして、効果的な授業やプレゼンテーションを実現できます。

注釈を書き込んだ画面を保存、印刷することもできます。



### 【PC操作モード】

ペンまたは指を使って、投写画面でコンピューターを操作することができます。コンピューターのマウスと同じように、クリックやドラッグ&ドロップなどができます。

※PC操作モードを利用する際は、HDMIケーブルやRGBケーブルとUSBケーブルをプロジェクターとPCに接続してください。

USBケーブルでPC操作モードの信号を送信する為USBケーブルは必須です。

# §3.ホーム画面

ホーム画面を使うと、入力ソースやよく使う機能を簡単に選択できます。ホーム画面は操作パネルまたはリモコンの【ホーム】ボタンを押すと表示されます。また、本機の電源投入時に、入力信号がないときにも、ホーム画面が表示されます。操作パネルやリモコンの上下左右ボタンで項目を選択して、【決定】ボタンを押します。



①	投写したい入力ソースを選択します。 現在投写している入力ソースには右上にチェックマークが付きます。 現在の入力映像のプレビュー画面がサムネイル表示されます。
②	本機の電源をオフにします。
③	ホーム画面を閉じます。
④	ホワイトボードモードに切り替えます。
⑤	投写画面を分割して、2つまたは4つの異なる機器の画面を同時に投写します。
⑥	プロジェクターから投写している画面を、同じネットワーク上の他の対応プロジェクターに配信します。 <b>(対応プロジェクター : EB-1485FT)</b>
⑦	無線接続ガイドを表示します。お使いのデバイスに応じた無線接続方法を確認できます。
⑧	以下の機能の設定を変更します。(表示される項目は設定により異なります) 【カラーモード】【明るさレベル】【音量】【幾何学歪み補正 (タテヨコ台形補正およびQuickCornerが使用できます)】【自動ペン位置合わせ】【アスペクト】
⑨	有効な入力ソースが9つ以上あるときに次ページまたは前ページへ移動します。
⑩	プロジェクター名とプロジェクターキーワードを表示します。
⑪	現在の時刻を表示します。

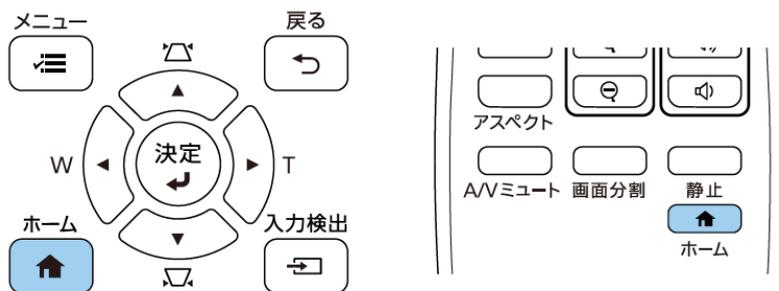
## ⑧「設定」で表示される条件

カラーモード	常に表示する。
自動ペン位置合わせ	常に表示する。
明るさレベル	次の条件に一つでも該当すると表示しない。 ・強制低輝度中/『明るさ一定運用』=<オン> または『光源モード』=<カスタム>以外
音量	次の条件に該当すると表示しない。 ・「HDMIリンク」「音声出力機器」=<AVアンプ> ※実際にAVアンプを接続しAVアンプをプロジェクタが認識すると表示しません。
幾何学歪み補正	次の条件の一つでも該当すると表示する。 ・「固定設置」=<オフ>かつ『幾何学歪み補正』=<タテヨコ台形補正> または『固定設置』=<オフ>かつ『幾何学歪み補正』=<Quick Corner>
アスペクト	次の条件のすべてに該当すると表示する。 ・カレントソース: コンピューター/ビデオ/HDMI/HDBaseT かつ ・サポート信号入力 かつ『表示倍率』=<オフ>または『表示倍率』=<オン>かつ『表示倍率モード』=<フル表示>

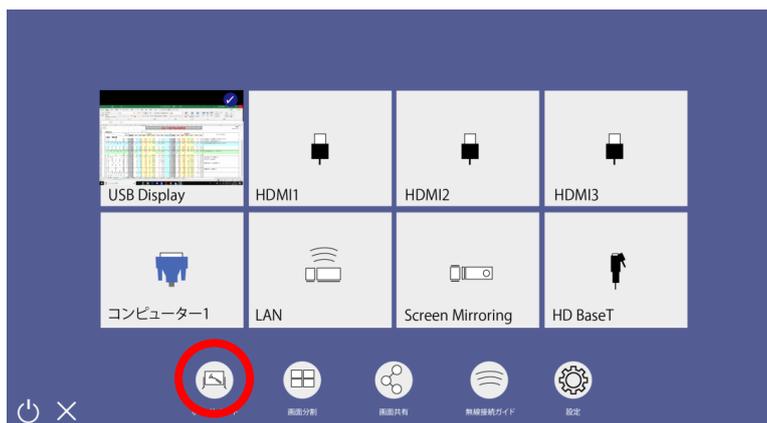
# §4. 【ホワイトボードモード】－ホワイトボードとして利用する

ホワイトボードとして利用するには、リモコンの「ホーム」ボタンを選択してホーム画面より「ホワイトボード」を選択します。

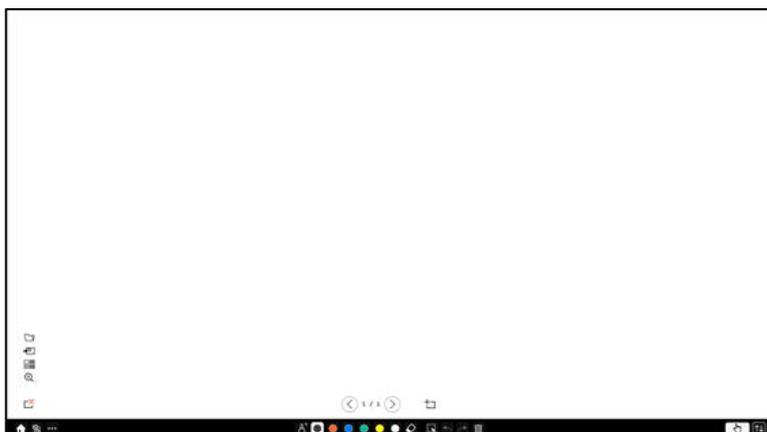
1) リモコンの「ホーム」ボタンを選択。



2) ホーム画面より「ホワイトボード」を選択。

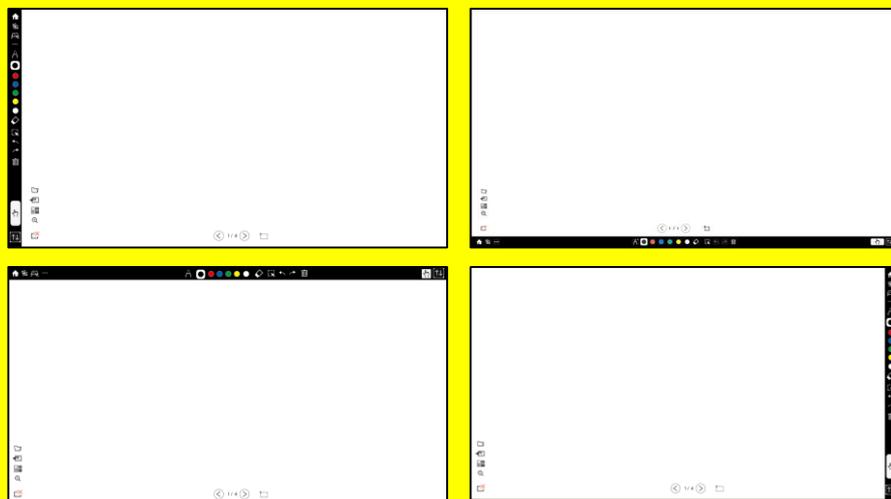


3) ホワイトボード画面が表示されます。



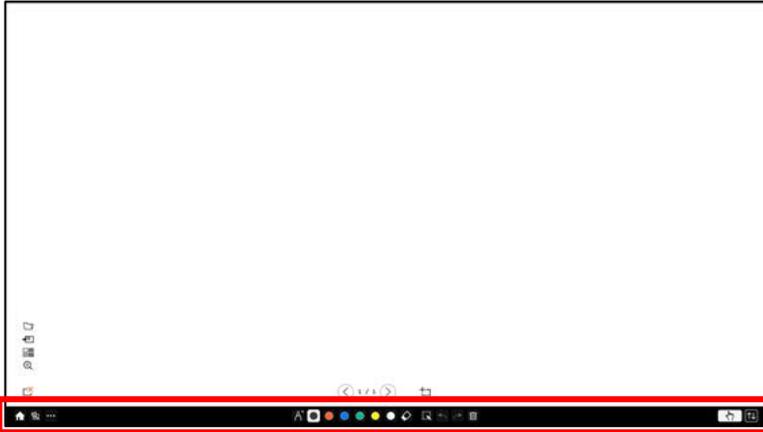
下段ツールバーは、上下左右に位置を変更して利用することが可能です。

ツールバーのボタンが配置されていないところを選択して、配置したい位置にドラッグすることで位置を変更できます。



# §4. 【ホワイトボードモード】 – ホワイトボードとして利用する

5ページに記載の「ホーム画面」の「ホワイトボード」をタッチすると、ホワイトボードモードが起動します。



ホワイトボード画面で表示できる画像の数とサイズは以下のとおりです。

- 1ページにつき1920×1080画素×2枚分相当の画素数
- 全体で20ページまで
- 描画したオブジェクトは、読み込んだ画像よりも手前に表示されます。

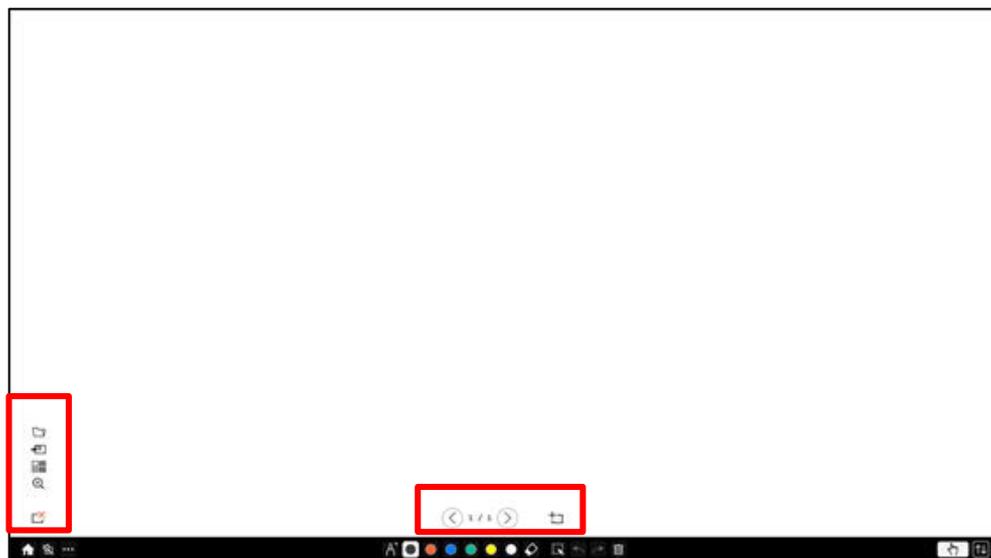
- ホワイトボード画面の外に移動したオブジェクトや画像は選択できないことがあります。

## 【ホワイトボードモードのツールバー】

	ホーム	ホーム画面を表示します。
	A/Vミュート	映像と音声を一時的に遮断します。再開する際は再度A/Vミュートボタンをタッチします。
	その他のツール	以下のツールパネルを表示します。
	メール	投写画面をメールで送信します。事前に「インタラクティブ」メニューの「メール」で設定が必要です。
	保存	表示中の画面を保存します。事前に「インタラクティブ」メニューの「保存」で設定が必要です。
	印刷	投写画面を印刷します。事前に「インタラクティブ」メニューの「印刷」で設定が必要です。
	タイマー	タイマーを起動します。
	音量	本機の内蔵スピーカーの音量を調整します。
	投写画面を配信	現在表示中の画面を、Eson iProjectionを使って共有します。
	参加者一覧	ユーザー選択画面を表示します。ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器の中から、目的の機器を選択して映像を投写します。
	ヘルプ画面の表示	ツールバーの機能を説明するヘルプを表示します。「閉じる」を選択すると、ヘルプ画面を閉じます。
	全ページ削除	現在の編集内容を破棄して、ホワイトボードを初期状態に戻します。
	ペン	ペンの種類や線幅、図形を選択します。
	ペンの色	黒、赤、青、緑、黄、白（蛍光ペンの場合 黄、緑、水色、ピンク、赤、青）を選択します。
	消しゴム	消しゴムに切り替えます。消しゴムの大きさを選択します。
	選択	描画や挿入した画像を選択し、オブジェクトの移動や大きさの変更などの操作をします。 ・選択したオブジェクトや画像の右下にある  アイコンをクリックすると操作できます。コピーしたオブジェクトや画像を貼り付ける時は、画面をタッチして  アイコンを選択し、「貼り付け」を選択します。 ・選択した範囲の角をドラッグするとオブジェクトや画像を拡大・縮小できます。 ・選択した範囲の上部にある  をドラッグすると、範囲内のオブジェクトや画像が回転します。
	元に戻す	一つ前の操作を元に戻します。
	やり直し	元に戻した操作を取り消します。
	画面クリア	表示中のページの描画内容をすべて削除します。
	タッチ無効／有効	意図しない操作を防ぐために、一時的にタッチ操作を不可にします。再度選択すると、タッチ操作を有効にします。
	最小化	ツールバーを閉じます。

## §4. 【ホワイトボードモード】 – ホワイトボードとして利用する

前ページ記載の「ホーム画面」の「ホワイトボード」をタッチすると、ホワイトボードモードが起動します。



### 【ホワイトボード画面のボタン】

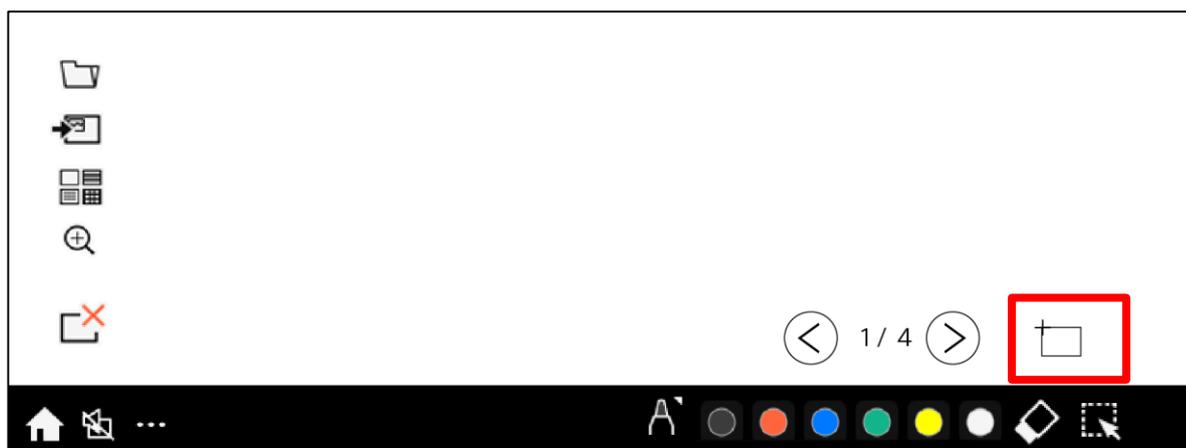
	開く	ファイルを選択して新規ページに読み込みます。
	画像挿入	現在のページに画像ファイルを挿入します。
	背景	ホワイトボードの背景を選択します。 を選択するとユーザー定義テンプレートを読み込みます。
	ズーム	投写映像を拡大／縮小します。 ※ホワイトボードとアノテーションで画面を分割している時は使用できません。
	ページ削除	表示中のページを削除します。
	前へ	前のページを表示します。
	次へ	次のページを表示します。
	新規ページ	表示中のページの次に新しいページを追加します。最大20ページまで追加できます。

## §4.「ホワイトボードモード」－新規ページの追加／削除

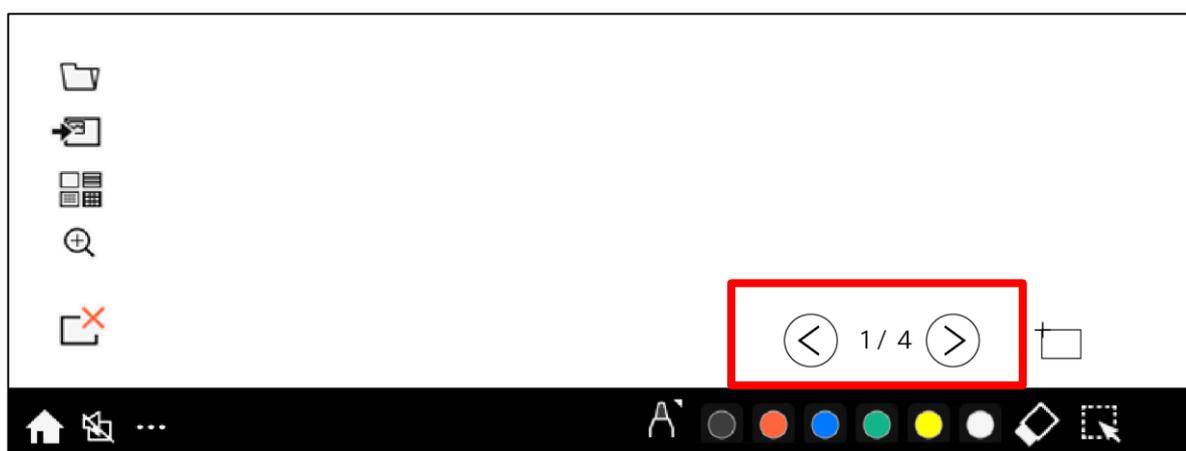
ホワイトボードのページを追加します。最大で20ページまで追加できます。

### 📄 新規ページ

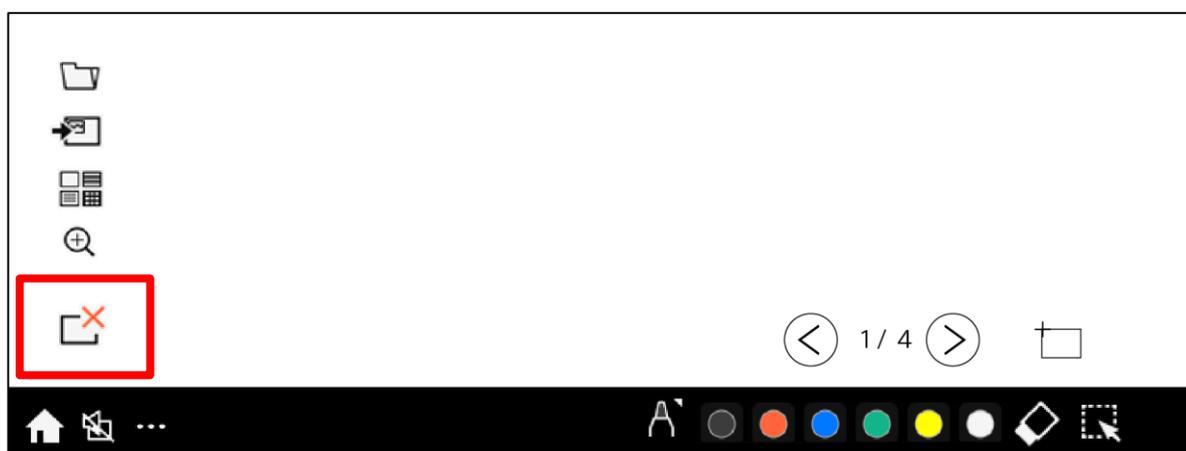
「新規ページ」をタッチすると、新しいページを追加できます。



現在のページは ○/○（全体ページ数の中の何ページ目か）で表示されます。



ページ削除 をタッチすると、現在表示しているページを削除します。



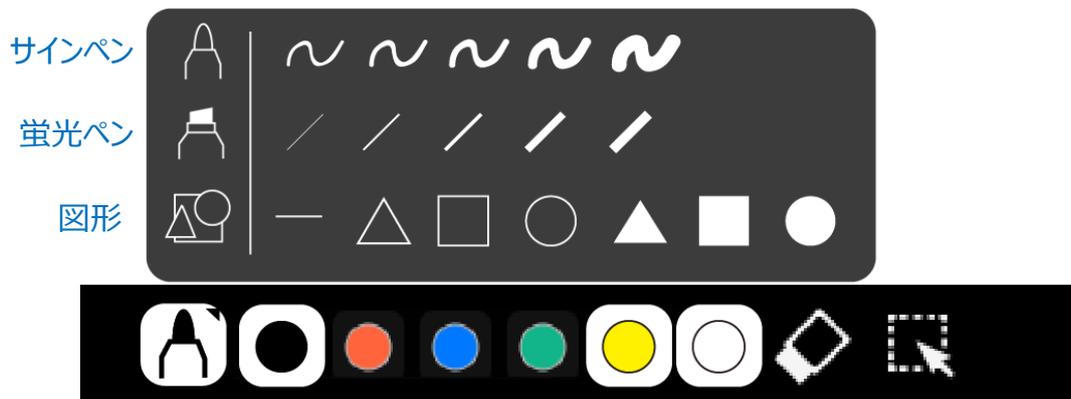
# §4.【ホワイトボードモード】－文字入力・移動・回転

ホワイトボードのページを追加します。最大で20ページまで追加できます。

## 新規ページ

1.「新規ページ」をタッチすると、新しいページを追加できます。

2.ペンの種類・太さを選択します。ツールバーのペンをタッチすると、ペンの種類・太さを選択する画面が表示されます。ペンの種類・太さを選択し、色を選択します。



3.ペンの種類・太さ・色を選択し、ペンや指を画面に近づけるとカーソルが表示されます。ペンをタッチした場合は、選択したペンの色と太さに合った丸が表示されます。図形を選択した場合は、十字に選択した図形のマークがついたカーソルが表示されます。

※ペンホバリング機能を「ON」にしている場合のみ。[メニュー]-[ペン/指タッチ]-[マウスホバリング]



4.カーソルが表示された位置に文字や図形を書くことができます。

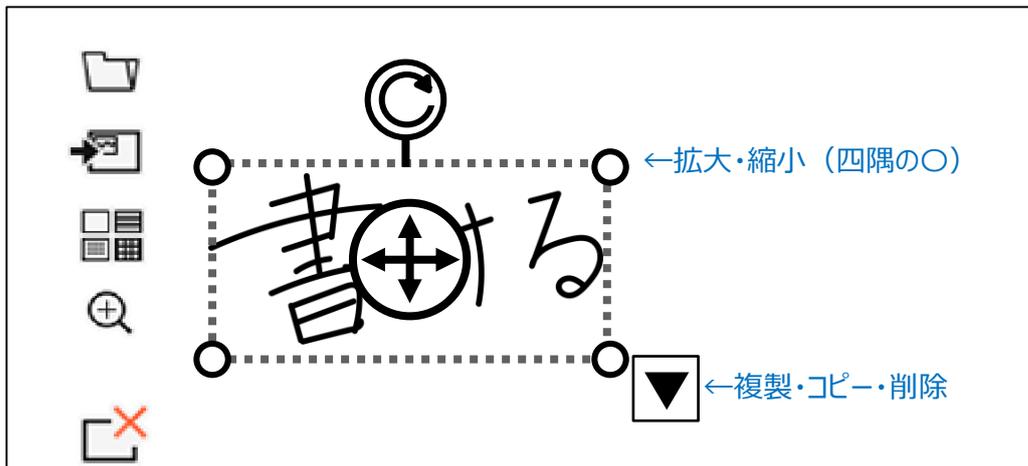


## §4.【ホワイトボードモード】－文字入力・移動・回転

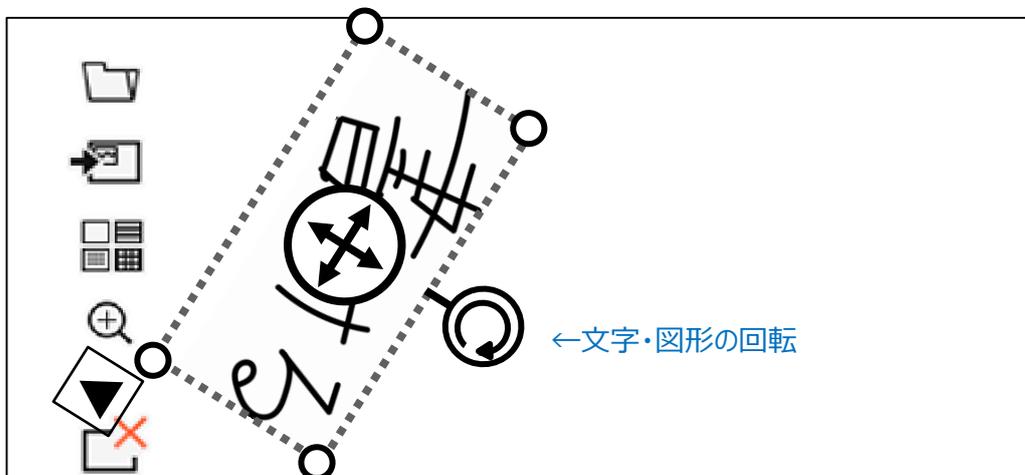
5. 書いた文字や図形は異動や拡大縮小・回転ができます。  
ツールバーの「選択」をタッチして、書いた文字や図形全体が入るよう、ペンを斜めにドラッグします。  
下図のように回りに黒い枠が表示されます。



6. 枠の四隅に表示される○を選択しドラッグすると、選択した文字や図形を拡大・縮小できます。  
中央の上下左右矢印がある○を選択してドラッグすると文字・図形を移動できます。  
枠の上に表示される○を選択してドラッグすると文字・図形を回転できます。



7. 枠の上に表示される○を選択してドラッグすると文字・図形を回転できます。



## §4.「ホワイトボードモード」－ファイルや画像を挿入する

ホワイトボードモードの現在のページに画像ファイルやPDFファイルを挿入します。USBストレージやネットワークフォルダーに保存した画像や、紙の資料をスキャンした画像を挿入できます。

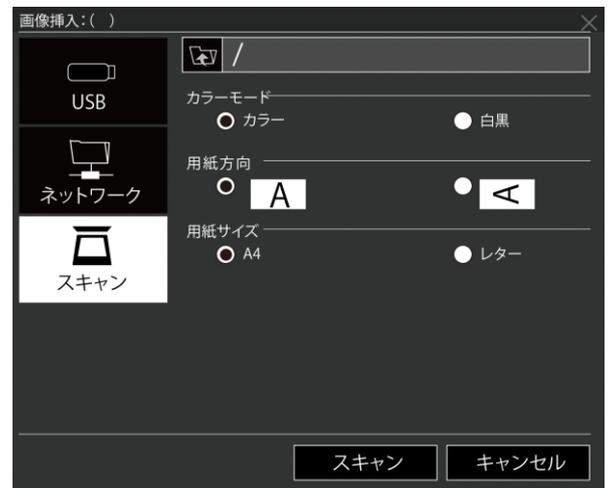
1. 画面左側のツール一覧より【  】を選択します。  
USBメモリーやネットワークフォルダーに保存されたファイルを選択し、「開く」でホワイトボード上に開くことができます。

画像を挿入する場合は、左側のツール一覧より【  】を選択します。



2. USBメモリーやネットワークフォルダー、接続したスキャナーからファイルを挿入できます。

USBメモリー、ネットワークフォルダーの場合は各項目を選択し、ファイルを選択して「開く」をタッチします。  
スキャンする場合はカラーモードや用紙方向等を選択して「スキャン」を選択します。



- ・ESC/P-Rコマンド対応のプリンターに内蔵されたスキャナー機能がご利用いただけます。
- ・プリント機能のないスキャナーはご利用いただけません。
- ・プリンターがインク切れ等で印刷できない状態の時はスキャンできません。

種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	以下の場合は読み込めません。 ・解像度が2048×2048を超えるもの ・拡張子が「.jpeg」のファイル ・CMYKカラーモード形式 ・プログレッシブ形式
	.png	解像度が2048×2048を超えるものは読み込めません。
PDF	.pdf	バージョンが1.7以前のPDFファイルをサポートしています。 PDFファイルを開くときは、読み込むページ数を指定します。 パスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。
EWF2	.ewf2	・EWF2 (Epson Whiteboard Format2) を開く時は、ページ番号を指定します。 ・ホワイトボードオリジナル形式で保存されます。 パスワードで保護されている場合は、パスワードを入力します。 <b>この形式で保存されたファイルは、開いた後で文字の再編集等が可能です。</b>

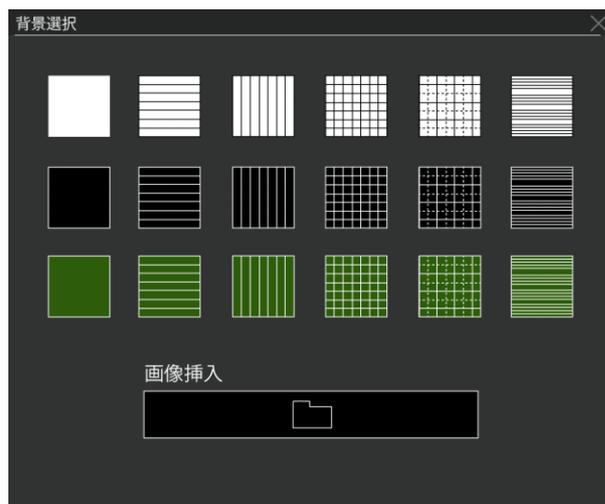
## §4.【ホワイトボードモード】－背景を選択する

背景画像を選択し、罫線やマス目を入れて操作性をよくすることが可能です。

1. ツールバーの機能一覧【】より【】を選択します。

白地・黒地・緑地に罫線やマス目が入った背景が予め登録されています。

タッチすると背景画像として読み込まれます。



2. 「画像挿入」を選択し、USBメモリーやネットワークフォルダーからオリジナルの背景画像を挿入することができます。



### 背景選択で読み込み可能な画像ファイル

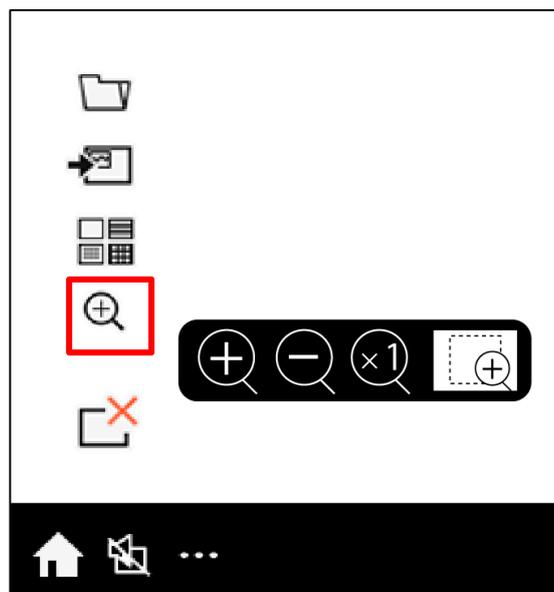
種類	ファイルタイプ (拡張子)	備考
画像	.jpg	最大1920×1080 ※これより小さい画像の場合は、画面中央へ配置されます。
	.png	最大1920×1080 ※これより小さい画像の場合は、画面中央へ配置されます。

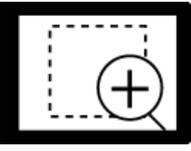
## §4.【ホワイトボードモード】－画面を拡大表示する

ホワイトボード画面を一時的に拡大表示できます。

1. ツールバーの機能一覧【】より【】を選択します。

拡大・縮小ボタンが表示されます。



ボタン	内容
	画面を拡大表示します。 ペンや指でタッチしたところを中心として拡大します。 タッチするたびに倍率が大きくなります。
	拡大した画面を縮小します。 ペンや指でタッチしたところを中心して縮小します。 ※ 1 倍以下に縮小することはできません。
	拡大した画面を等倍に戻します。
	ドラッグ操作で選択した範囲を部分拡大します。

## §4.【ホワイトボードモード】－描画した内容を共有する

### 描画した内容をメール添付して送信する。

※事前に本体の「メール」設定が必要です。  
※送信元アドレスは「メール」の送信元アドレスで設定したアドレスとなります。

1. ツールバーの機能一覧  より「メール 」を選択します。

メールアドレス、サブジェクト（タイトル）、ファイル名を入力し、送信範囲（前ページか、現在のページ）とファイル形式を選択します。

暗号化して送信する場合は、「暗号化」にチェックを入れ、パスワードを入力して「送信」をタッチします。

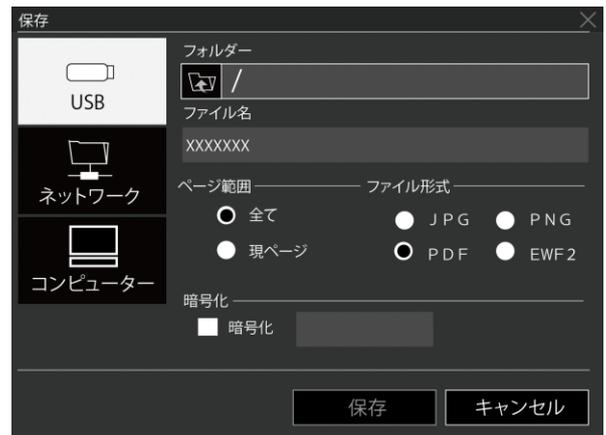


### 描画した内容をUSBメモリーやネットワークフォルダーに保存する。

※ネットワークフォルダーに保存する場合は事前に保存先フォルダーやアクセスできるユーザー・パスワードの設定が必要です。

1. ツールバーの機能一覧  より「保存 」を選択します。

保存先とファイル名を指定し、保存するページ範囲（前ページか、現在のページのみ）とファイル形式を選択し「保存」をタッチします。



#### ホワイトボードモードで保存できるファイル形式

PNG	解像度：1920×1080
JPG	解像度：1920×1080
PDF	必要に応じてパスワードを設定できます。
EWF2	必要に応じてパスワードを設定できます。

※再編集可能な状態で保存したいときは、EWF2を選択してください。

EWF2形式のファイルはプロジェクターおよびEasyInteractiveToolsで利用できます。

### 描画した内容を印刷する。

ホワイトボードの内容を、プロジェクターから直接プリンターに印刷できます。（USB接続、またはネットワーク接続された対応プリンターのみ）

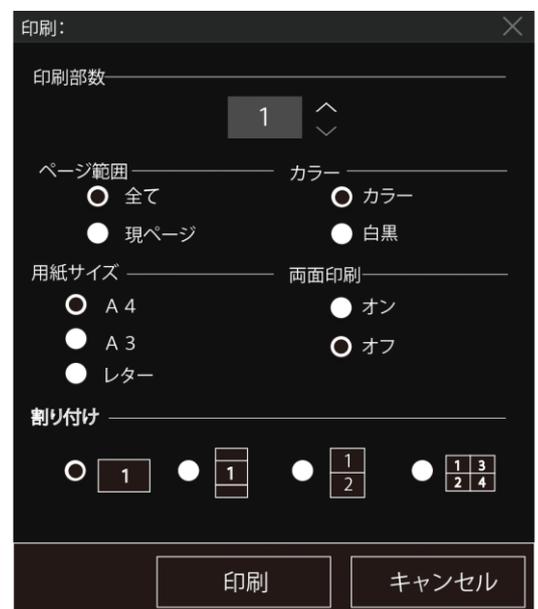
※事前に[インタラクティブ]メニューの[印刷]で設定が必要です。

1. ツールバーの機能一覧  より「印刷 」を選択します。

印刷画面が表示されます。

印刷部数・ページ範囲（全ページか現在表示しているページ）

カラー／白黒・用紙サイズ・両面印刷や割付設定を確認して「印刷」をタッチします。



# §4.【ホワイトボードモード】 – 同じネットワーク上のプロジェクターと画面共有する

社内ネットワーク環境（VPN含む）でEB-1485FT同志での画面共有が可能です。

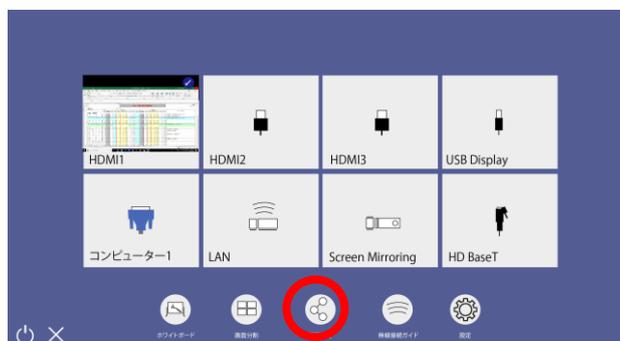
接続元（EB-1485FT-1）  
プロジェクターを無線or有線で社内ネットワークに接続。  
PC画面はHDMIケーブルでプロジェクターに投写。



接続元（EB-1485FT-2）  
プロジェクターを無線or有線で社内ネットワークに接続。



1. ホーム画面の「画面共有」を選択します。



2. ネットワーク上のプロジェクターのIPアドレスを入力し、必要に応じて「プロジェクターキーワード」を入力します。

一度接続したことがあるアドレスは画面右側に履歴が表示されます。履歴に表示された接続先に接続する場合は、そちらをタッチして接続できます。



3. 「接続」を選択して接続します。



- (注) EB-1485FT以外の機種との画面共有はできません。
- (注) 動画再生などの動きのある部分の表示は遅延が発生する場合があります。
- (注) HDCPで保護されたコンテンツの画面共有は出来ません。

# §4.【ホワイトボードモード】 – 同じネットワーク上のプロジェクターと画面共有する

4.接続が確立すると、画面上部に

共有中：(共有開始したプロジェクター名)  
[戻る]：画面共有終了

と表示されます。



一度接続したことがあるアドレスは画面右側に履歴が表示されます。履歴に表示された接続先に接続する場合は、そちらをタッチして接続できます。

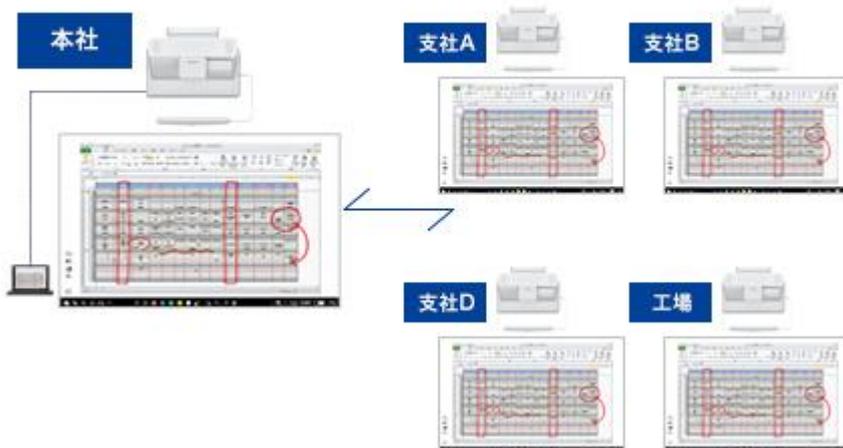


3.「接続」を選択して接続します。



3.画面共有は最大4台まで対応しています。

最大4台まで画面共有可能



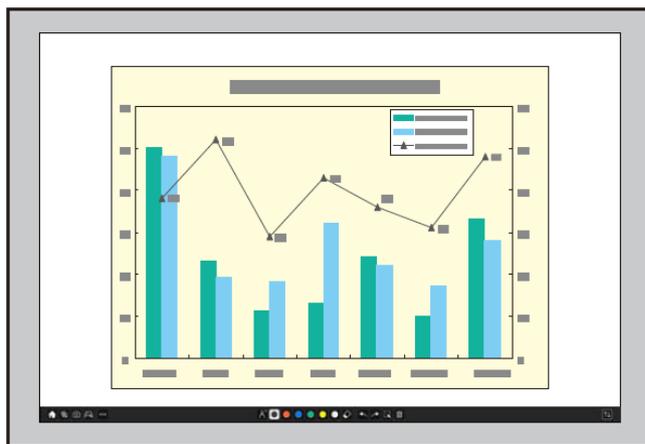
(注) EB-1485FT以外の機種との画面共有はできません。  
(注) 動画再生などの動きのある部分の表示は遅延が発生する場合があります。  
(注) HDCPで保護されたコンテンツの画面共有は出来ません。

# §5.【描画モード】 – 投写した資料に描画する

描画モードでは、コンピューター、タブレット端末、ビデオ機器などから投写した資料に、インタラクティブペンまたは指を使って描画できます。2本のペンを同時に使用できます。ペンと指を同時に使用することもできます。

1. 接続機器から映像を投写します。

2. ツールバーが表示されたら、インタラクティブペンや指を使って投写画面に書き込みができます。



## 【描画モードのツールバー】

	ホーム	ホーム画面を表示します。
	A/Vミュート	映像と音声を一時的に遮断します。再開する際は再度A/Vミュートボタンをタッチします。
	ズーム	投写映像を拡大/縮小します。 (画面を2画面または4画面に分割しているときは使用できません)
	キャプチャー	表示中の画面をホワイトボードの新規ページに貼りつけます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・【全画面】：画面全体をキャプチャーします。</li> <li>・【範囲選択】：選択した部分のみキャプチャーします。</li> </ul> Screen Mirroringの映像をキャプチャーするときは、事前に【ネットワーク】メニューの【キャプチャー】を【使用可能】に設定します。 ➡【ネットワーク】>【ネットワーク設定】>【ネットワーク投写】>【Screen Mirroring】>【キャプチャー】
	ホワイトボード	ホワイトボードモードに切り替えます。 (画面を2画面または4画面に分割しているとき、または【表示倍率】機能を使用しているときは使用できません)
	画面分割	画面分割の設定をします。 (画面を2画面または4画面に分割しているときのみ)
	画面シフト	ウルトラワイドディスプレイで映像の横位置を指定します。 (【スクリーンタイプ】が【16:6】のときのみ)
	その他のツール	以下のツールパネルを表示します。
	メール	投写画面をメールで送信します。事前に「インタラクティブ」メニューの「メール」で設定が必要です。
	保存	表示中の画面を保存します。事前に「インタラクティブ」メニューの「保存」で設定が必要です。
	印刷	投写画面を印刷します。事前に「インタラクティブ」メニューの「印刷」で設定が必要です。
	タイマー	タイマーを起動します。
	音量	本機の内蔵スピーカーの音量を調整します。
	投写画面を配信	現在表示中の画面を、Epson iProjectionを使って共有します。
	参加者一覧	ユーザー選択画面を表示します。ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器の中から、目的の機器を選択して映像を投写します。
	ヘルプ画面の表示	ツールバーの機能を説明するヘルプを表示します。「閉じる」を選択すると、ヘルプ画面を閉じます。

# §5.【描画モード】－投写した資料に描画する



## 【描画モードのツールバー】

	ペン	ペンの種類や線幅、図形を選択します。
	ペンの色	黒、赤、青、緑、黄、白（蛍光ペンの場合 黄、緑、水色、ピンク、赤、青）を選択します。
	消しゴム	消しゴムに切り替えます。消しゴムの大きさを選択します。
	選択	描画や挿入した画像を選択し、オブジェクトの移動や大きさの変更などの操作をします。 ・選択したオブジェクトや画像の右下にある  アイコンをクリックすると操作できます。コピーしたオブジェクトや画像を貼り付ける時は、画面をタッチして  アイコンを選択し、「貼り付け」を選択します。 ・選択した範囲の角をドラッグするとオブジェクトや画像を拡大・縮小できます。 ・選択した範囲の上部にある  をドラッグすると、範囲内のオブジェクトや画像が回転します。
	元に戻す	一つ前の操作を元に戻します。
	やり直し	元に戻した操作を取り消します。
	画面クリア	表示中のページの描画内容をすべて削除します。
	タッチ無効／有効	意図しない操作を防ぐために、一時的にタッチ操作を不可にします。再度選択すると、タッチ操作を有効にします。
	共有の終了	画面共有を終了します。 （画面共有を受信しているときのみ）
	PC操作	PC操作モードに切り替えます。[PC操作]を[オン]にして、ペンや指でコンピューターを操作します。 （画面共有を受信しているときは使用できません）
	最小化	ツールバーを閉じます。

## §5.【描画モード】－投写した内容を共有する

### 描画した内容をメール添付して送信する。

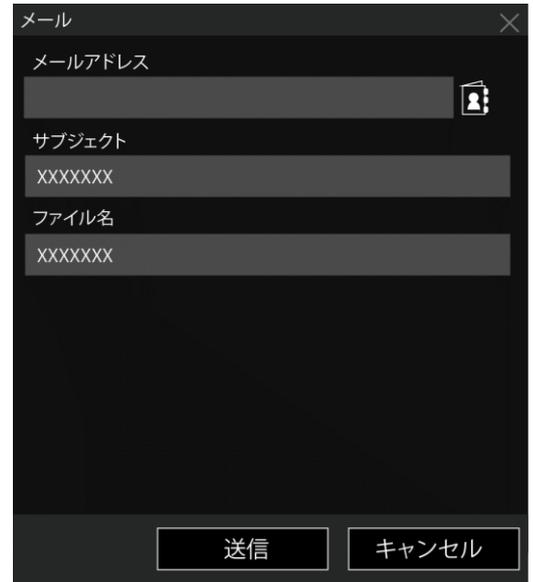
※事前に本体の「メール」設定が必要です。  
※送信元アドレスは「メール」の送信元アドレスで設定したアドレスとなります。

1. ツールバーの機能一覧  より「メール 」を選択します。

メールアドレス、サブジェクト（タイトル）、ファイル名を入力し、「送信」を押します。

描画モードでメール送信する場合はページ範囲やファイル形式を選択することができません。

描画モードの場合は、複数ページの設定がない為現在表示されている画面を**JPEG形式**で送信します。



### 描画した内容をUSBメモリーやネットワークフォルダーに保存する。

※ネットワークフォルダーに保存する場合は事前に保存先フォルダーやアクセスできるユーザー・パスワードの設定が必要です。

1. ツールバーの機能一覧  より「保存 」を選択します。

保存画面が表示されます。

保存先とファイル名を指定し、保存するページ範囲（前ページか、現在のページのみ）とファイル形式を選択し「保存」をタッチします。

**描画モードで保存する際のファイル形式：JPEG**



### 描画した内容を印刷する。

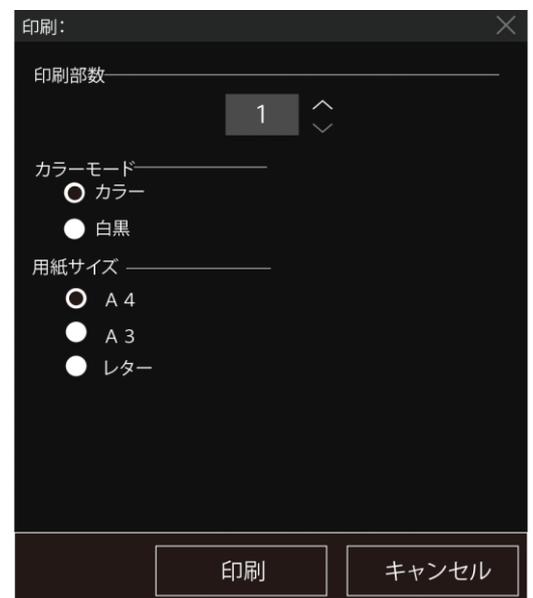
ホワイトボードの内容を、プロジェクターから直接プリンターに印刷できます。（USB接続、またはネットワーク接続された対応プリンターのみ）

※事前に[インタラクティブ]メニューの[印刷]で設定が必要です。

1. ツールバーの機能一覧  より「印刷 」を選択します。

印刷画面が表示されます。

カラー／モノクロ、用紙サイズを選択して「印刷」をタッチします。



# §6.【PC操作モード】 – 投写画面でコンピューターを操作する

コンピューターをUSBケーブルで接続すると、インタラクティブペンまたは指を使って、投写画面上でコンピューターを操作できます。コンピューターのマウスと同じように、クリックやドラッグ&ドロップなどができます。



Windows®7以降でマルチディスプレイのセカンダリディスプレイを投写してインタラクティブ機能を使用するときは、以下の設定を行ってください。

- [ペン/指タッチ] メニューの [ペン座標検出モード] を [ペンモード] に設定する  
➔ [ペン/指タッチ] > [PC操作] > [ペン座標検出モード]
  - コンピューターの [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [Tablet PC 設定] > [セットアップ] からセットアッププログラムを起動して、インタラクティブ機能を設定する
- 3台のディスプレイを使用しているときは、3番目のディスプレイではインタラクティブ機能を使用できません。  
また、複数の画面を横断して描画できません。

## PC操作モード機能を使う

※Macで初めてインタラクティブ機能を使う時は、コンピューターにEasy Interactive Driverをインストールします。

※接続しているコンピューターのOSに合わせて「ペン/指タッチ」メニューの「ペン座標検出モード」を設定します。  
Windows®/Mac : ペンモード      Ubuntu : マウスモード

1. インタラクティブペンを投写画面に近づけます。または、指で投写画面に触れます。

2. ツールバーの「PC操作」がオンになっているか確認します。オンになっていない場合は、ボタンを押してオンにします。



以上でペンまたは指を使ってコンピューターの操作ができます。以下の操作が可能です。

- Windows®でタブレットPCの入力パネルを使用する。
- Microsoft® Officeアプリケーションで、インクツールを使用する。

**電子ペンまたは指での操作方法は通常のPC操作モードと同じです。**

クリック	投写面にペン先（または指）を押し付けてすぐ離す
右クリック	ペン先（または指）で長押しして離す
ドラッグ & ドロップ	移動したいアイコン等の上でペン先（または指）を押し付けて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離す

# §6.【PC操作モード】 – 投写画面でコンピューターを操作する

電子黒板を利用するために専用のソフトウェア「Easy Interactive Tools」を起動します。

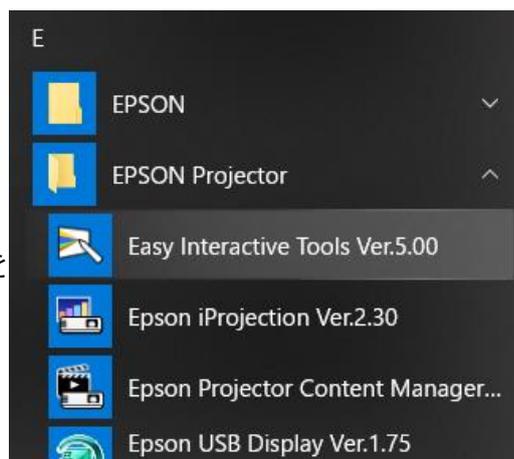
起動方法：

<Macの場合>

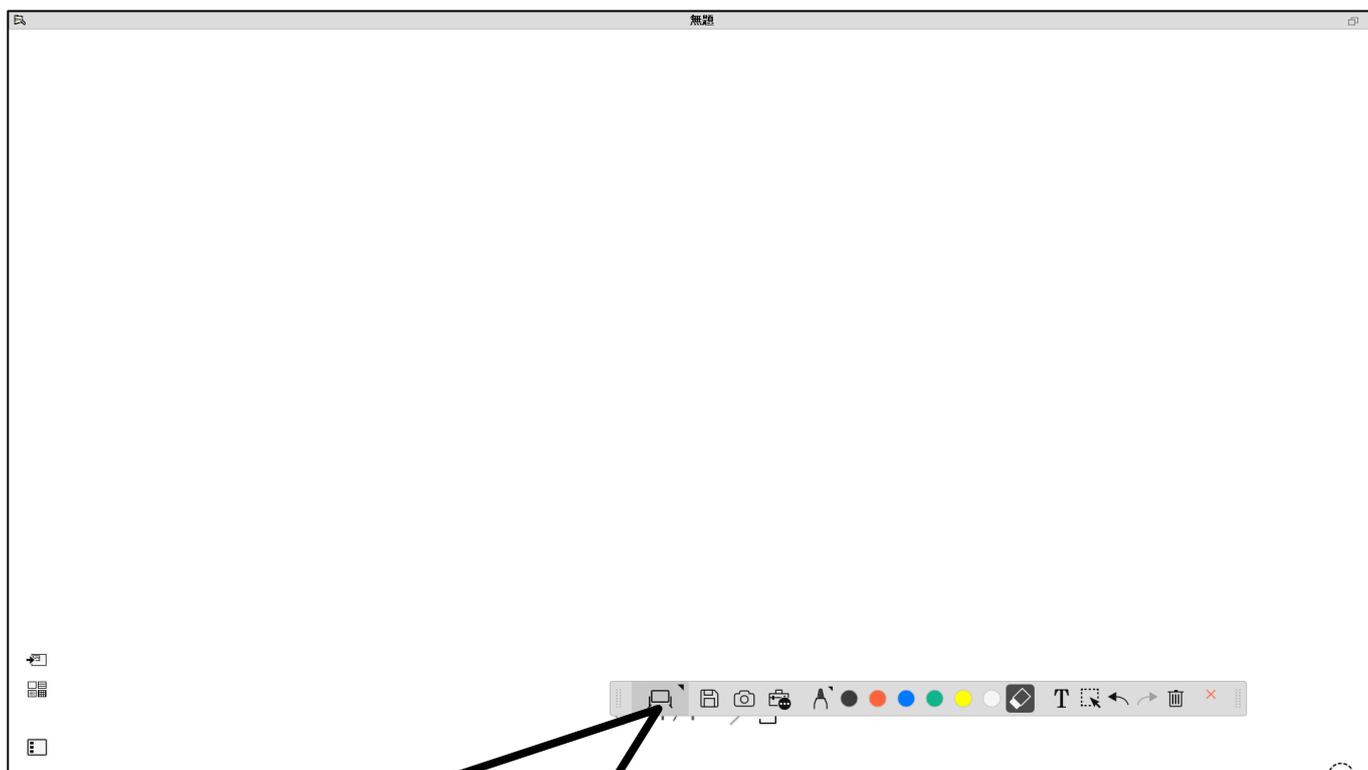
Easy Interactive Tools をインストールしたフォルダで Easy Interactive Toolsのアイコンをダブルクリックする。

<Windows®の場合>

スタートメニュー-EPSON Projector-Easy Interactive Tools を選択する。



「Easy Interactive Tools Ver.5.0」を起動すると、Easy Interactive Toolsのホワイトボード画面が全画面表示されます。



表示されたツールバーのモード選択ボタンをクリックし、モードを切り替えます。パソコン操作に戻る場合は「マウス」を選択します。

ホワイトボードモードと描画モードは  
プロジェクター内蔵機能と操作方法等は同等です。

A detailed view of the mode selection menu and toolbar. The mode selection menu is open, showing three options: 'ホワイトボード' (Whiteboard) with a checkmark, 'アノテーション' (Annotation), and 'マウス' (Mouse). The toolbar below shows the 'ホワイトボード' icon highlighted with a red box.

# §6.【PC操作モード】－投写画面でコンピューターを操作する

## 「Easy Interactive Tools Ver.5.0」のツールバー

### ホワイトボードモード／描画モード



### マウスモード



	モード選択	 ホワイトボードモード／描画モード／マウスモードを切り替えます。
	保存	表示中の画面を保存します。保存したファイルはホワイトボードモードで開くことができます。 .pdf、.eit、.iwb形式では、すべてのページを1ファイルにして保存します。 ※  が表示されていない時は  を選択します。
	キャプチャー	表示中の画面をホワイトボードの新規ページに貼り付けます。ホワイトボードモードでウィンドウ表示をしているときは、ウィンドウ枠の外に描かれた描画内容はコピーされません。
	その他のツール	ツールパネルを表示します。
	ページアップ ページダウン	※描画モードのみ 選択中の文書で前のページ、次のページに移動します。
	ペン設定	ペンの種類や線幅、図形を選択します。
	ペンの色	ペンの色を選択します。 黒 / 赤 / 青 / 緑 / 黄 / 白 (蛍光ペン：黄 / 緑 / 水色 / ピンク / 赤 / 青)
	消しゴム	消しゴムに切り替えます。消しゴムの大きさを選択します。
	テキスト入力	テキスト入力モードに切り替えます。描画エリアの任意の場所を選択し、テキストボックスを行事します。
	選択	描画内容や挿入した画像を選択し、オブジェクトの移動や大きさの変更などの操作をします。
	元に戻す やり直し	一つ前の操作を元に戻したり、元に戻した操作を取り消したりします。
	画面クリア	表示中のページの描画内容をすべて削除します。
	終了	Easy Interactive Toolsを終了します。

# §6.【PC操作モード】－投写画面でコンピューターを操作する

## ツールパネルの機能

### ホワイトボードモード



### 描画モード/マウスモード

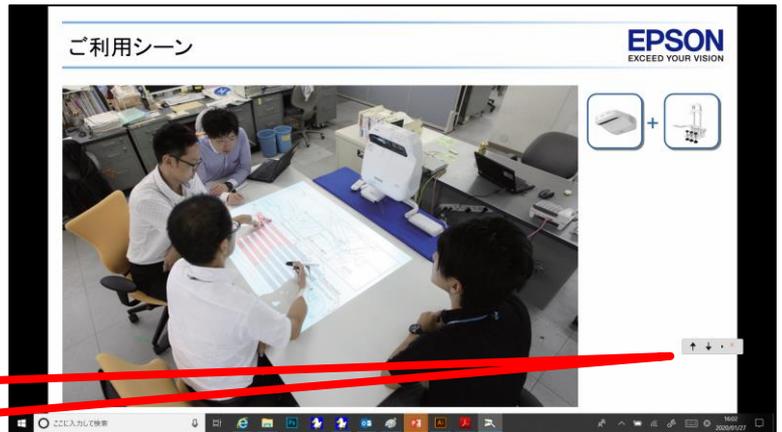


	新規作成	新しいファイルを作成します。(ホワイトボードモードのみ)
	開く	過去に保存したファイルを開きます。(ホワイトボードモードのみ)
	エクスポート...	描画内容をpdf、eit、iwb型式で保存します。すべてのページを1ファイルにして保存します。保存したファイルはホワイトボードモードで開くことができます。
	印刷	表示移駐の画面を印刷します。ホワイトボードモードでは、すべてのページが印刷されます。印刷設定画面で印刷対象のページを選択することもできます。
	設定	設定画面を開きます。
	最近使ったファイル	最近使ったファイルのリストを表示します。(ホワイトボードモードのみ)
	キーボード	数字や文字の入力が可能なソフトキーボードを表示します。
	貼り付け	クリップボードにコピーした内容を貼り付けます。(ホワイトボードモードのみ)
	シェード	表示中の画面をシェードで覆います。シェードの端をドラッグすると、シェード範囲を変更できます。❌をクリックするとシェードが終了します。
	スポットライト	スポットライトの効果を使って投写画面の内容を強調します。スポットライトの枠をドラッグすると表示範囲を変更できます。❌をクリックするとスポットライトが終了します。 スポットライトの形状は「設定」画面の「一般」タブで変更できます。
	領域拡大	映像の一部を拡大表示します。十字カーソルをドラッグして拡大する領域を選択します。
	ヘルプ	ヘルプを表示します。(マウスモードのみ)
	カメラ	コンピューターに接続されている書画カメラの映像を表示します。

# §6.【PC操作モード】 – Easy Interactive Toolsでのスライドショー

Easy Interactive Toolsを利用してPowerPoint®のスライドショーを実行すると、  
投写したスライドショーに書き込みができます。

1. Easy Interactive Toolsを起動し、ツールバーで「マウス」を選択します。
2. PowerPoint®のスライドショーを実行します。スライドショー画面の隅に上下の矢印ボタンがついた小さなツールバーが表示されます。



3. ツールバーの右端にある ▶ ボタンを押して、「フル」を選択します。



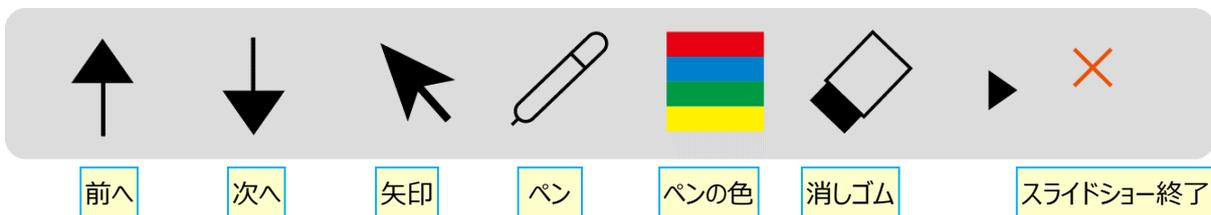
シンプル



フル

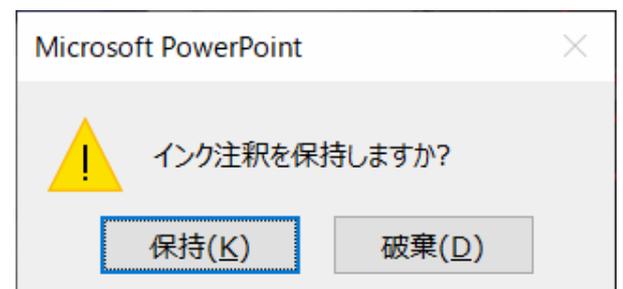


※「フル」を選択すると、ツールバーが長くなります。

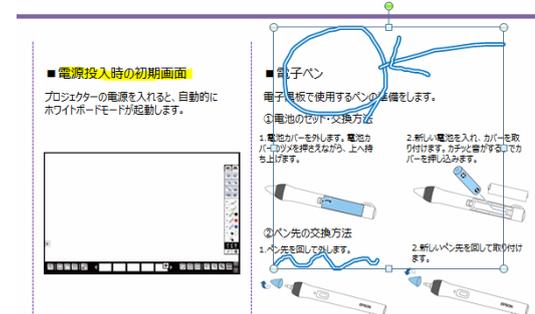
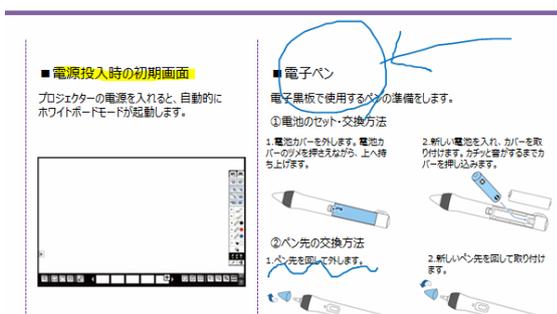


4. ペンで書き込んだ後、スライドショー終了時に右のような画面が表示されます。

**「保持」**：書き込んだものがアプリケーション内に保存されます。  
**「破棄」**：書き込んだものが消去されます。



5. 「保持」を押すと、ペンで書き込んだ内容がPowerPoint®のデータに反映されます。書き込んだ文字はオブジェクト（図形）として貼り付いていますので、選択して移動したり、不要な場合は削除することができます。



## §6.【PC操作モード】ーネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する

ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器の中から、目的の機器を選択して映像を投写できます。Epson iProjection（Windows／Mac）を使用するコンピューターとEpson iProjection(iOS／Android）を使用するスマートフォンやタブレット端末から選択できます。

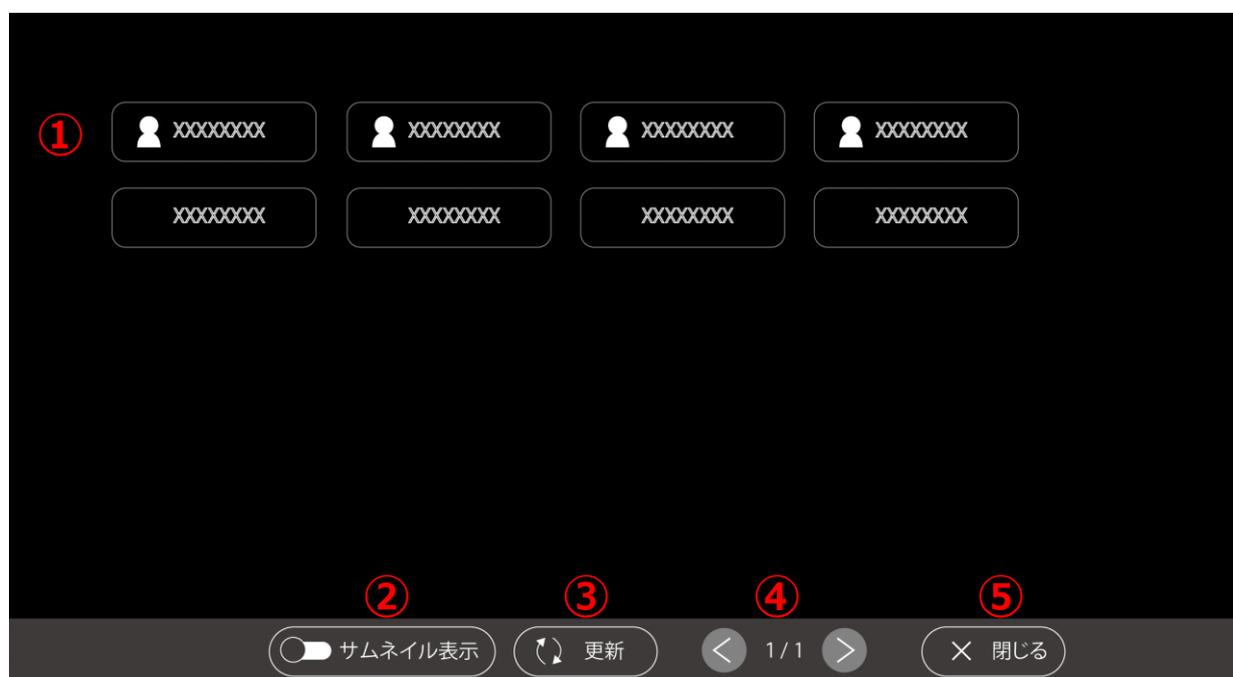
詳細は操作ガイド「ネットワーク設定編」やEpson iProjection操作ガイドをご覧ください。

### ネットワーク経由で接続している機器の映像を投写する

1. ツールバーの機能一覧【】を選択して、入力ソース一覧から[参加者一覧]を選択します。



2. 投写する機器のユーザー名を選択します。



①ネットワーク経由でプロジェクターに接続している機器のユーザー名を表示します。

サムネイル表示にしているときは、各ユーザーの機器の画面がサムネイルで表示されます。

画面を投写している機器のユーザー名の横には  アイコンが表示されます。

②ユーザー選択画面の表示をサムネイル表示かアイコン表示に切り替えます。

③ユーザー選択画面を更新します。

ネットワーク経由で、新たにプロジェクターに接続したユーザーがいるときは、このボタンを選択してユーザー選択画面を更新します。

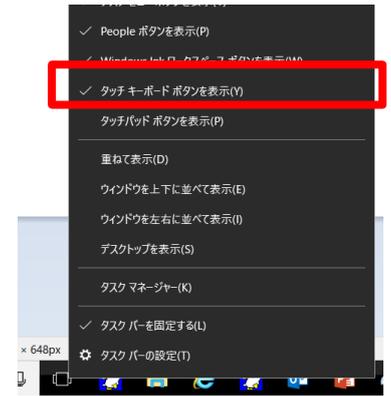
④前後のページに移動します。

⑤ユーザー選択画面を閉じて前の画面に戻ります。

以上で、選択したユーザーの画面が表示されます。

# §6.【PC操作モード】 – タッチキーボードの設定

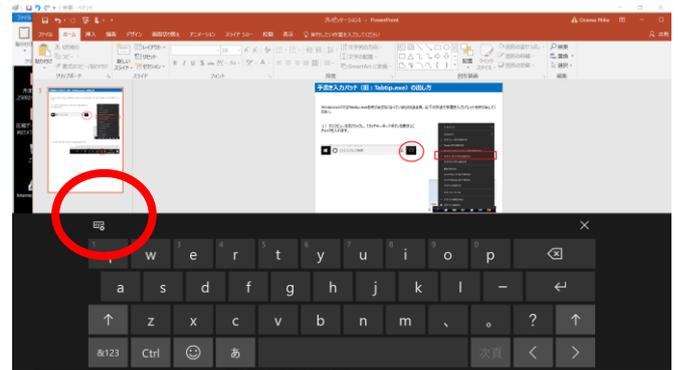
1) タスクバーを右クリックし、「タッチキーボードボタンを表示」にチェックを入れます。



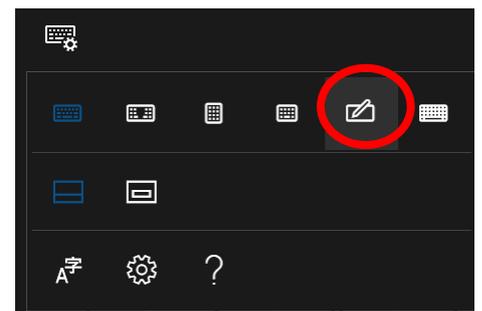
2) タッチキーボードボタンがタスクバーの右側に表示されます。



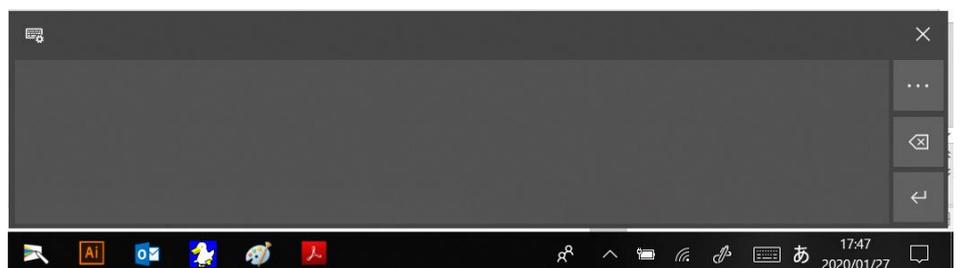
3) タッチキーボードボタンをクリックすると、キーボードが表示されます。左上の「設定」ボタンを選択します。



4) タッチキーボードの種類一覧から「手書き入力」を選択します。



5) 手書き入力に変更されました。



# §6.【PC操作モード】 – Microsoft® Officeの「インクツール」を利用する

プロジェクターを起動後、パソコンをプロジェクターに接続してMicrosoft® Officeのアプリケーション(※1)を起動すると、投写画面上でペンを使って、パソコン上のMicrosoft® のアプリケーションを操作することができます。また、Windows® 8 や10に搭載の『タッチキーボード』との組み合わせで、活字も入力することができます。

クリック	投写面にペン先を押し付けてすぐ離す
右クリック	ペン先で長押しして離す
ドラッグ&ドロップ	移動したいアイコン等の上でペン先を押し付けて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離す

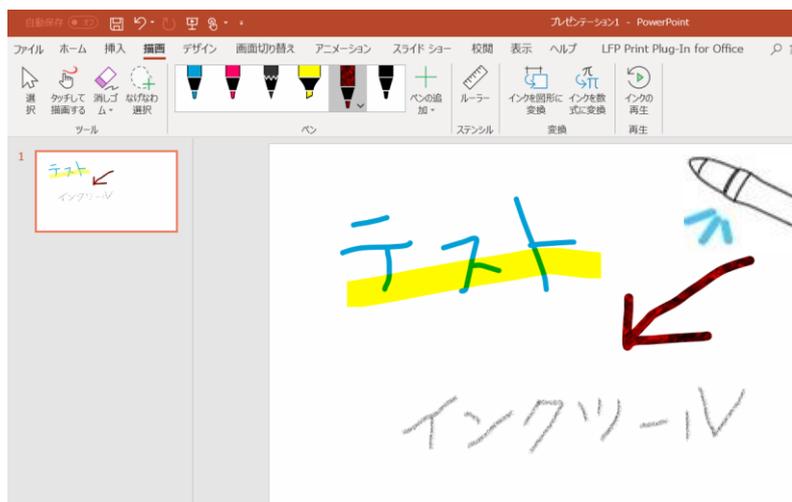
(※1)対応バージョンはMicrosoft®Office 2007以降、対応アプリケーションは、Microsoft®Word, Excel®,PowerPoint®です。

## Microsoft® Office 上でインクツールを表示する

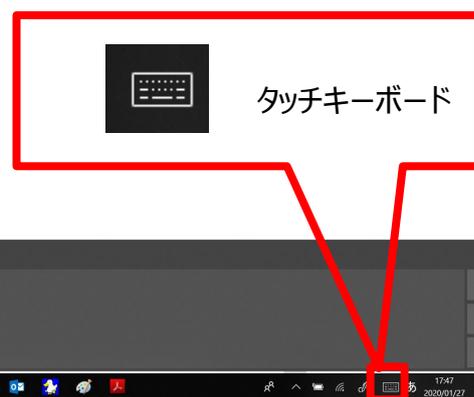
パソコンでMicrosoft® Officeのアプリケーションを起動し、「描画」タブを選択します。リボン部分にペンツールが表示されます。

『インクツール』で手書き文字を書き、蛍光ペンでラインを引くことができます。さらに、パソコンに搭載の『タッチキーボード』を使って、活字を入力することができます。

※タッチキーボードの設定についてはP25ページをご覧ください。



(例) PowerPoint® 365



## Microsoft® Office上で利用できるインクツールの機能

それぞれの機能のアイコンをペンツールでクリックして使います。



表示されたペンをクリックすると色や太さを変更することができます。



## §7.【共通】－タイマー機能を利用する

プロジェクター本体に内蔵しているタイマー機能を利用して、会議や授業中にストップウォッチの代わりとして利用することができます。

1. ツールバーの機能一覧【…】より「タイマー」を選択します。

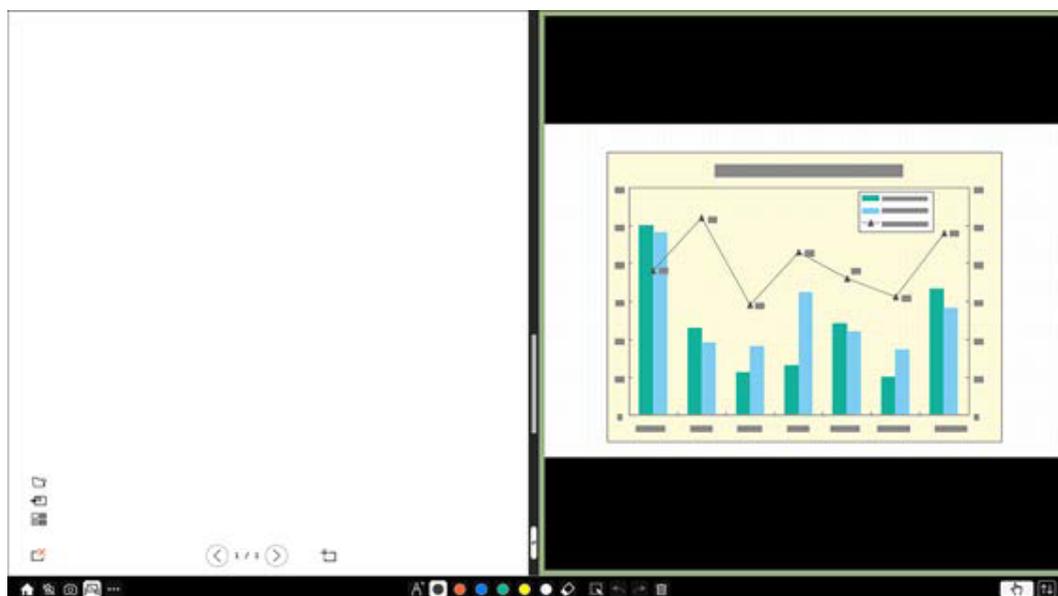
「カウントアップ」「カウントダウン」を選択し、計測したい時間を▲▼で入力後、スタートボタンをタッチします。



昨日	内容
カウントアップ	0 からカウントをスタートし、数字が増えています。
カウントダウン	設定した時間（最小10秒～）からカウントをスタートし、数字が減っていきます。0 になるとアラームが鳴ります。※音量は画面下の音量調整ボタン（+・-）で調整できます。

## §7.【共通】－ホワイトボードと画面を分割する

描画モードやPC操作モードを利用しているとき、画面を2つに分割してホワイトボード画面と映像を同時に投写できます。



1.映像を投写します。

2.ツールバーで  を選択します。

左画面にホワイトボード画面が表示されます。投写している入力ソースの映像が右画面に表示されます。

3.片方の画面を拡大して、もう片方の画面を縮小するには中央にあるバーを左右に動かします。

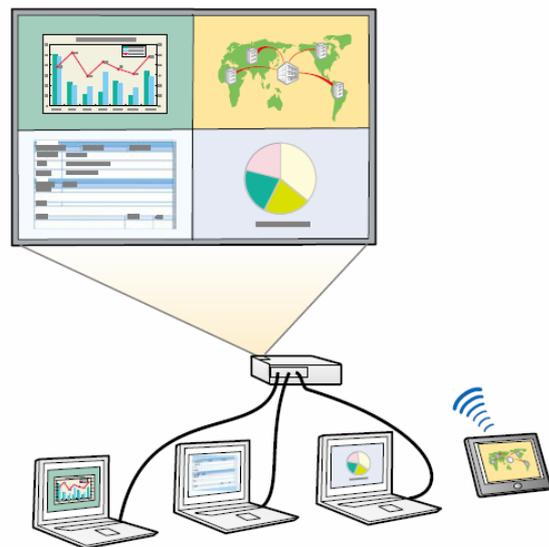
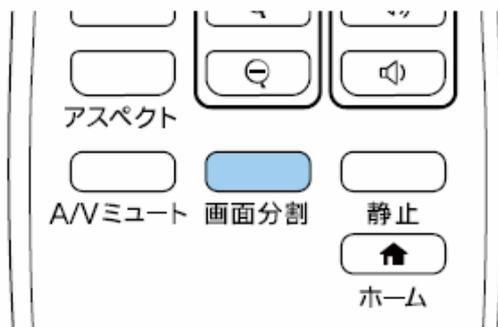


一方の画面を拡大して画面全体に表示するには、バーを画面の端に移動します。

# §7.【共通】－複数の映像を同時に投写する

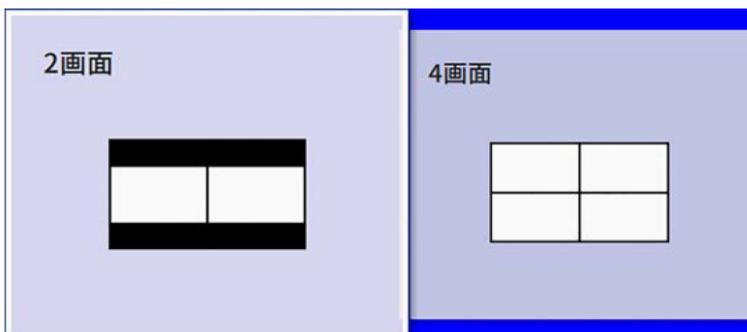
画面分割機能を使用して、異なる映像機器から2つまたは4つの映像を同時に投写できます。

1. リモコンの「画面分割」ボタンを押します。  
(または、ホーム画面の画面分割をタッチします)



2. [2画面]または[4画面]を選択します。

2画面に分割するときは、投写している入力ソースの映像が左画面に投写されます。  
4画面に分割するときは、前回の画面分割時に投写した入力ソースが前回と同じ場所に投写されます。



## 2画面分割設定

画面分割		
<input type="checkbox"/> HDMI1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDMI2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDMI3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDBaseT	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> コンピューター1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> ビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB Display	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> LAN	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> Screen Mirroring1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 音声切替	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC操作	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 画面サイズ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

実行

## 4画面分割設定

画面分割				
<input type="checkbox"/> HDMI1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDMI2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDMI3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> HDBaseT	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> コンピューター1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> ビデオ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB2	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> USB Display	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> LAN	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> Screen Mirroring1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 音声切替	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input checked="" type="checkbox"/> PC操作	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

実行

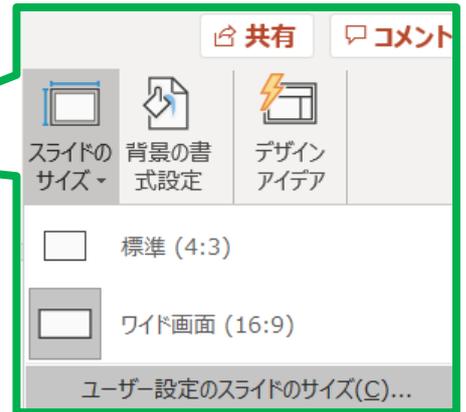
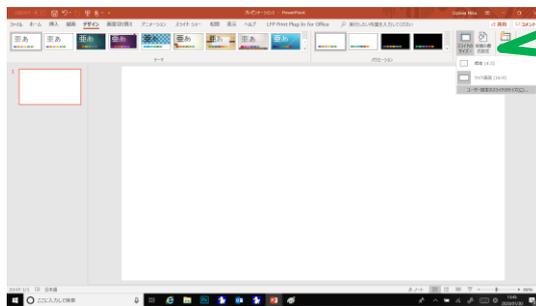


組み合わせ可能な入力ソースのみを選択できます。

# §8.【16:6投写】－超ワイド投写する

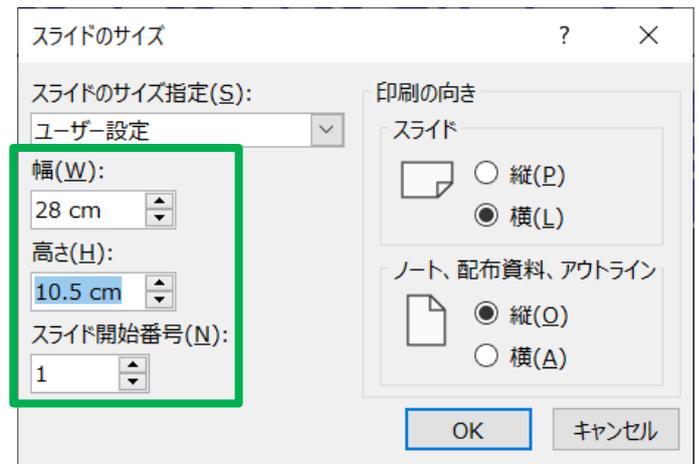
## 投写するデータを作成する

1. PowerPointを起動し、「デザイン」－「スライドのサイズ」－「ユーザー設定のスライドのサイズ」を選択します。



2. スライドのサイズを設定します。  
アスペクト比16:6のデータが必要ですので、  
スライドのサイズ：「ユーザー設定」を選択し、  
「幅 28cm 高さ10.5cm」を入力して「OK」をクリックします。

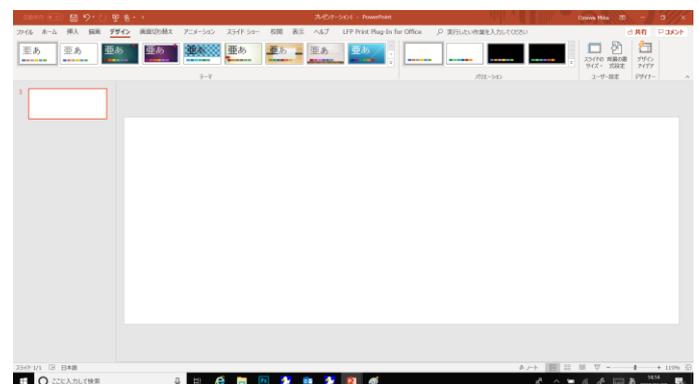
幅：28cm  
高さ：10.5cm



3. 新しいスライドを作成する際、既に配置している文字や写真を最大化するか、サイズに合わせて調整するかを選択します。



4. 16:6サイズのスライドが表示されます。



5. 16:6で投写するためのデータを作成し、16:6サイズで投写できます。



# §8.【16:6投写】－超ワイド投写する

## 16:6で投写する

1. プロジェクター本体の設定を確認します。

リモコンの「メニュー」から「信号入出力」-「EDID」を選択し、「1920×720」を選択します。

よく使う項目	信号入出力	
映像調整	音量	オン
信号入出力	入力ソース	コンピューター 1
設定	入力信号フォーマット	
表示	マイク入力レベル	50
動作	オーバースキャン	オート
管理	EDID	1920×720/60Hz
ネットワーク	初期値に戻す	
ペン/指タッチ	A/V出力	投写時
インタラクティブ	音声左右反転	オフ
マルチプロジェクション	音声出力	オート
	HDMI音声出力	

2. PCのディスプレイ設定を確認します。

デスクトップで右クリックし、「ディスプレイ設定」を開きます。



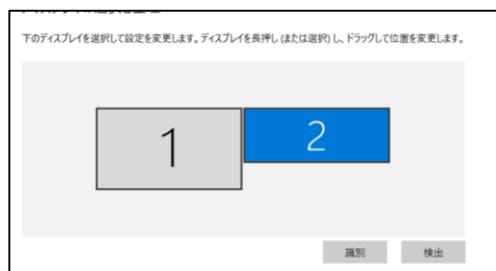
3. セカンドディスプレイを選択します。

解像度：1920×720（推奨）  
複数のディスプレイ：表示画面を拡張する

を選択し、設定を保存（維持）します。



4. セカンドディスプレイの表示が右図のようになります。



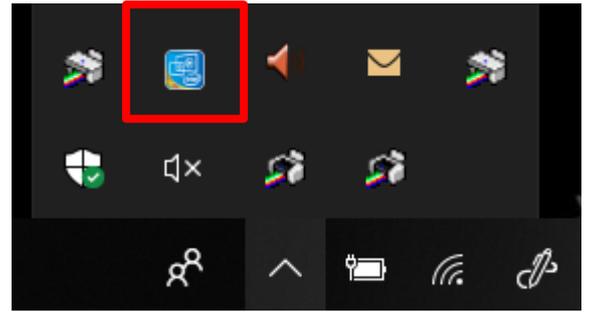
# §8.【16:6投写】－超ワイド投写する

## 16:6で投写する

5.グラフィックボードの設定を確認します。

※インテル®グラフィックスの場合で説明します。  
各グラフィックボード毎に設定は異なります。

タスクバーの  をクリックし、インテル®グラフィックスの設定を選択します。

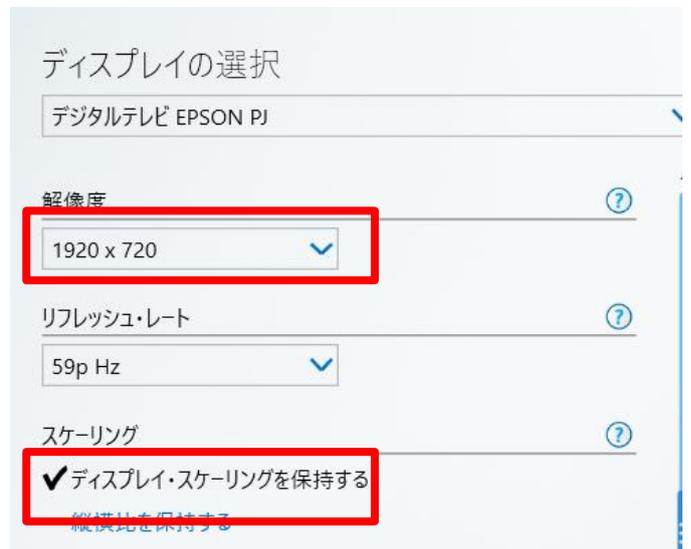


6.ディスプレイの選択で「デジタルテレビ EPSON PJ」を選択します。

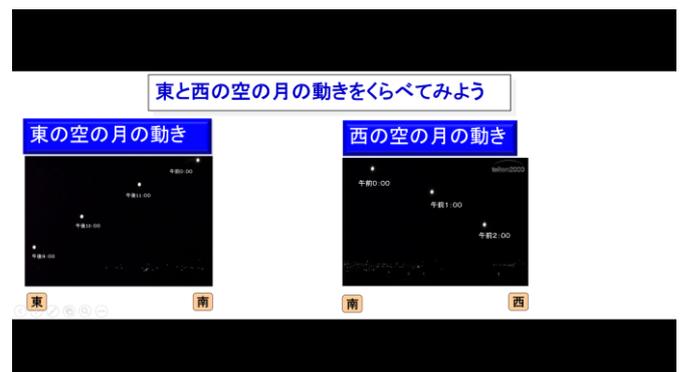


7.解像度：1920×720を選択し、「ディスプレイ・スケーリングを保持する」にチェックを入れます。

右側の表示が下図のようになります。



8.以上で設定は完了です。PowerPointのスライドショーで作成したワイド表示のデータをプロジェクターにワイド画面で投写できます。



# §9.【USBメモリー】-USBメモリー保存データを投写する

USBメモリーに保存した画像ファイルや動画ファイルをプロジェクターで直接投写することができます。

## PCフリーでの投写

1.USBメモリーをEB-1485FTに接続します。  
※コントロールパッドやインターフェイスボックスが接続されている場合は、各機器のUSBポートに接続してください。

ホームボタンを押すと、接続一覧に「USB」が表示され、USBメモリーの中身がサムネイル表示されます。



2.投写したい画像や動画を選択して表示します。

PCフリーで投写できる画像・動画は以下のとおりです。



ファイルの内容	ファイルタイプ（拡張子）	詳細
静止画	.jpg	以下のファイル形式は投写できません。 • CMYK形式 • プログレッシブ形式 • 高圧縮 • 解像度が8192 × 8192を超えるファイル
	.bmp	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280 × 800以上
	.gif	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1280 × 800以上 • アニメーションファイル • インターレース形式
	.png	以下のファイル形式は投写できません。 • 解像度が1920 × 1080を超えるファイル • インターレース形式
動画	.avi (MotionJPEGのみ)	AVI 1.0のみ投写できます。 以下のファイル形式は投写できません。 • PCM、ADPCM以外の音声コーデックで保存されたファイル • 解像度が1280 × 720を超えるファイル • サイズが2 GBを超えるファイル

PCフリーでは16:6の超ワイドデータは投写できません。  
USBメモリーから直接超ワイドデータを投写する場合は、次ページ移行をご覧ください。

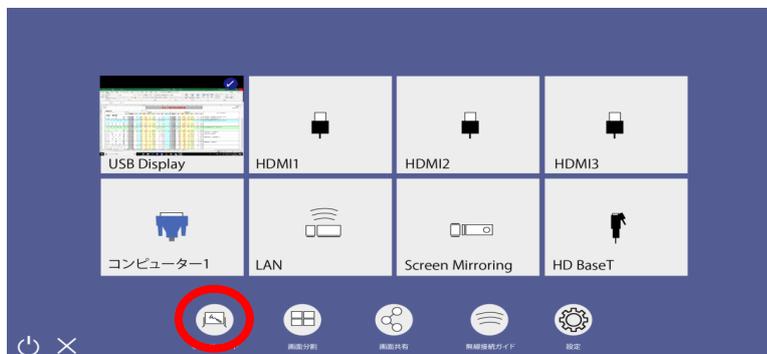
# §9.【USBメモリー】-USBメモリー保存データを投写する

USBメモリーに保存した超ワイド（16：6）データを投写することができます。

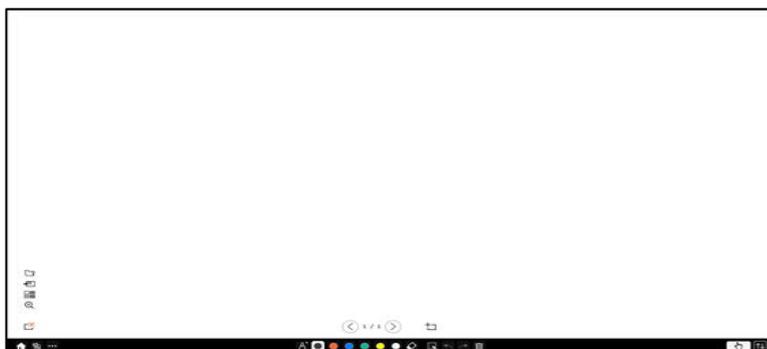
## 16:6のデータを投写する

16：6のデータを投写する場合は、16：6のPDFデータを準備してください。  
PowerPoint等で作成した場合は、ファイルを保存する際PDFで保存することが可能です。

1.ホーム画面より「ホワイトボード」を選択。



2.ホワイトボード画面が表示されます。

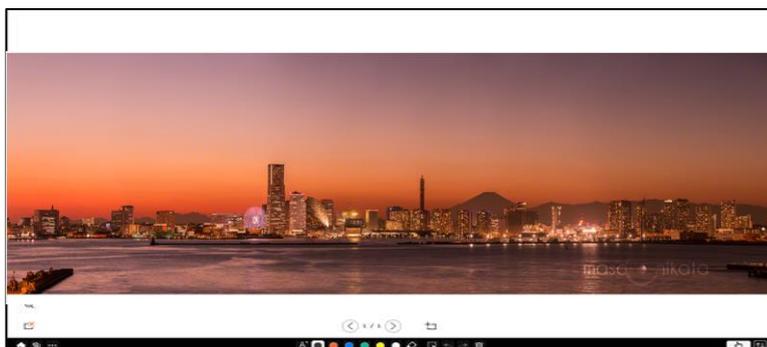


3. 画面左側のツール一覧より【】を選択します。  
USBメモリーやネットワークフォルダーに保存されたファイルを選択し、「開く」でホワイトボード上に開くことができます。

画像を挿入する場合は、左側のツール一覧より【】を選択します。



4.16:6のワイドデータで作成したPDFファイルを選択すると、画面いっぱいに表示されます。





■ お問い合わせ先 ■

プロジェクターインフォメーションセンター

050-3155-7010

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）

（注）上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。上記番号がご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTT東日本、NTT西日本の固定電話（一般回線）からおかけいただくか、042-503-1969までおかけ直してください。